内閣総理大臣表彰

日本サービス大賞

NIHON SERVICE AWARD

日本初。
優れたサービスを表彰する制度がはじまります。

応募要領

2015年7月	応募受付開始
2015年9月末	応募締切
2016年春	発表・表彰式

URL　http://service-award.jp

きらりと光るサービスが、
これからの日本を輝かせていく。

日本サービス大賞とは

日本のGDPと雇用の７割超を占め、日本経済を支えているサービス産業。
本賞は、多岐にわたる業種の多種多様なサービスを共通の尺度で評価し、
優れたサービスを表彰する、日本で初めての表彰制度です。
国内の全てのサービス提供事業者を対象に、今まで見たこともない独創的なサービスから、
人々に感動を呼ぶようなサービス、お客様に永く愛されているサービス、
地域で輝いているサービスまで、“きらり”と光る優れたサービスを幅広く表彰します。
本賞を通じて、サービス提供事業者のより一層の士気向上やイノベーションを促します。
多くの方々のご応募をお待ちしております。

表彰対象

「優れたサービスをつくりとどけるしくみ」

優れたサービスには、サービスを生み出し、日々、改善していく“しくみ”を持っています。
そんな“きらり”と光るサービスをつくりとどけるしくみを評価し、表彰します。

各賞のご紹介 |全30件程度|

内閣総理大臣賞 |1件|
最も優秀と評価されたサービスを表彰。

地方創生大臣賞 |8件程度|
地域の活性化の視点で大きく貢献した優秀なサービスを表彰。

総務大臣賞
厚生労働大臣賞
農林水産大臣賞
経済産業大臣賞
国土交通大臣賞 |各1件程度|
各省の所掌に基づき管轄となる大臣より、優秀なサービスを表彰。

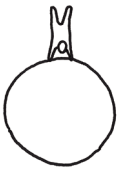
SPRING賞 |15件程度|
主催団体のSPRINGより、優れたサービスを表彰。

審査員特別賞 |数件程度|
審査委員会の判断により、特に際立った特徴のあるサービスを表彰。

※各賞においては該当なしの場合もあります。

こんなサービスが対象です。

たとえば▶ 常識を覆すような、
いままで聞いたことも
見たこともないサービス



たとえば▶ お客様と一緒に
双方向のコミュニケーションで
価値を共に創るサービス

たとえば▶ 「そこまでやるか！」という、
細部までこだわりを
持っているサービス

たとえば▶ これまでも、
これからも
長く愛され続けるサービス

たとえば▶ 忘れられない感動や
喜びをもたらす
物語性があるサービス

たとえば▶ 地域や社会の活性化に貢献し、
市場の成長や
雇用を生み出すサービス

応募のメリット

自組織内のメリット

内閣総理大臣賞をはじめとする各賞の栄誉

内閣総理大臣賞、各大臣賞など、
国内最高位の栄誉をうけるチャンスです。

従業員の士気や満足度の向上

自分たちの提供するサービスが表彰されることで、
従業員のやる気の向上や自信につながります。

提供サービスへの新たな「気づき」

本賞への応募を通じて、自身の提供サービスを改めて整理でき、
新たな「気づき」を得る機会となります。

対外的なメリット

優れたサービスとしてのPR効果

表彰結果は大々的に発表されます。
受賞の実績は対外的な PRにつながります。

提供するサービスの信用力の向上

有識者による厳格な審査を経て表彰されることで、
提供サービスの信用がさらに高まります。

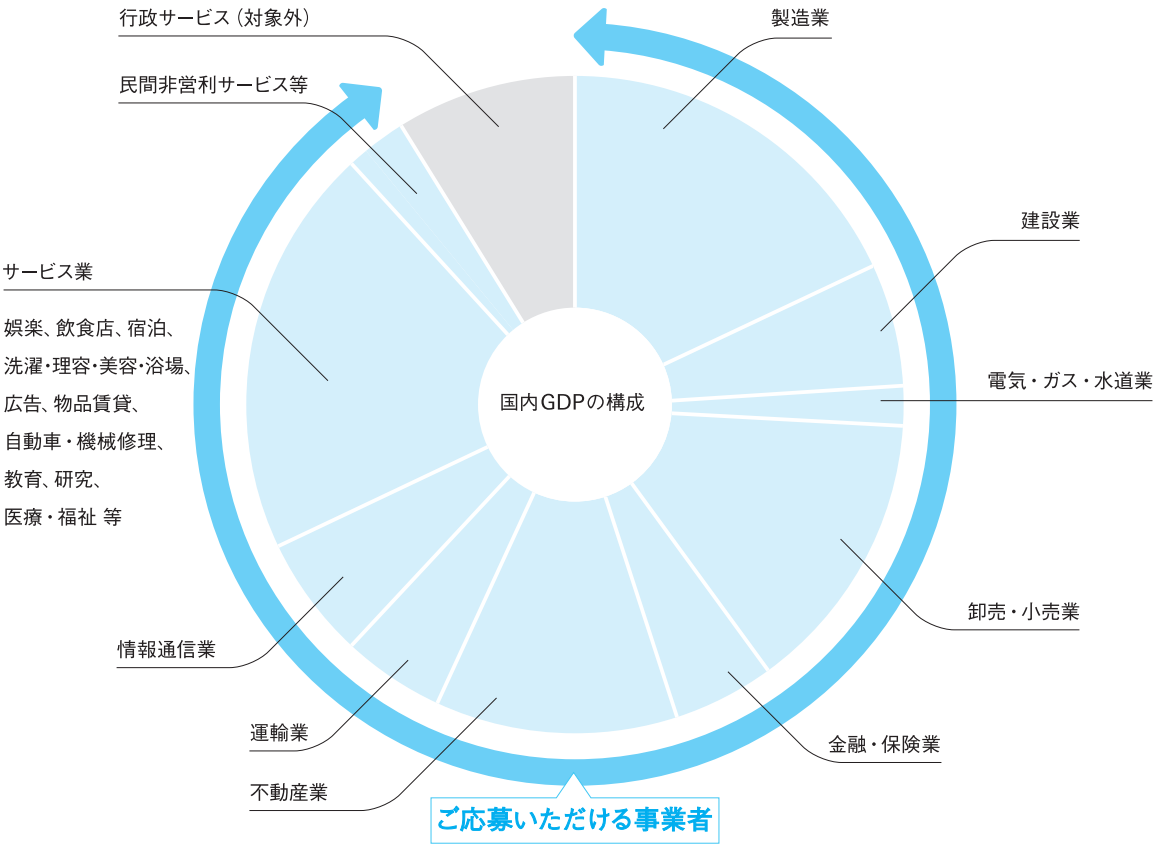
ビジネスチャンス創出、事業拡大

受賞はあなたのサービスが注目を受ける絶好の機会です。
ビジネスチャンスの創出にもつながります。

日本中から募集します。
あなたがつくりとどける優れたサービス。

サービスをつくりとどけるすべてのひとから

優れたサービスを提供しているすべての事業者が対象です。
すべての業種から、ご応募いただけます。
中小企業も、大企業も。事業の営利、非営利も。BtoBも、BtoCも。
きらりと光るサービスを日本中から募集します。



ご応募―審査の流れ 予定

2015年7月―9月 〉 2015年10月―2016年2月 〉 2016年春

応募期間
2015年6月 応募用紙リリース
2015年7月1日|水|応募開始
2015年9月30日|水|応募締切

審査期間
2015年10月 第1次審査：書類審査
2015年12月 第2次審査：現地審査・ヒアリング
2016年2月 最終選考会

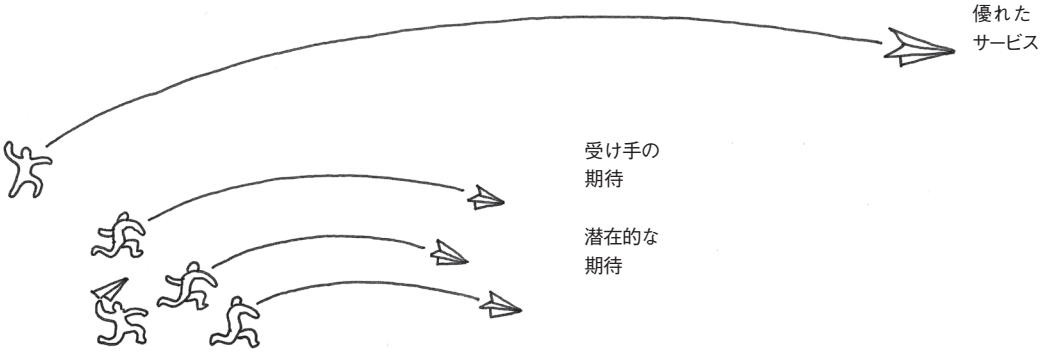
発表・表彰式

審査基準

「優れたサービスをつくりとどけるしくみ」を次の基準により定量的・定性的な側面から審査します。

1. 受け手の期待に対する達成度

「優れたサービス」の特徴である、受け手が同種の一般的なサービスに対して持つ期待を、大きく超える経験価値を提供し、成果をもたらしていること。あるいは、今までにない、新しい経験価値を提供し、成果をもたらしていること。



2. サービスをつくりとどけるしくみ

構造	業務分担・業務マニュアル、ICTの利活用、人財の雇用・活用と評価制度、 経済的継続性（収益性）を担保する事業モデル、優れたサービスを目指す企業理念、等
プロセス	変化に応じて構造をつくりかえる持続性と自己革新性、顧客と一体となった 経験価値の創造を可能にする場づくり、現場での自律的な判断と行動、等
波及効果	サービスがもたらす地域経済の活性化、雇用の創出、社会課題の解決、等

3. サービス産業の発展への寄与

他の事業者が参考にし、新たに自社のサービス向上に繋げるなど、サービス産業界に広く応用・展開できるサービス。きらりと光る尖った特徴を持つ革新性・独創性のあるサービス、等

委員長メッセージ

野中郁次郎
（一橋大学 名誉教授）

「日本ならではの優れたサービスを国内外に伝えたい」

サービスは、人と人の「一期一会」の関係です。提供者と受け手とが出会い、共感・共鳴・共振し、受け手が期待以上の経験をするとき、優れたサービスが生まれます。その本質は、アートとサイエンスの相互作用によるヒューマン・セントリックな価値共創であり、しくみを通じて個人知を組織知に高める必要があります。本賞を通じて、日本全国の“きらりと光る”サービスを発掘し、日本ならではの優れたサービスを国内外に広く発信したいと思います。

第1回「日本サービス大賞」応募要領

1. 応募者に必要な資格

①応募者の資格

(1)日本国内に活動拠点を持つ事業者であること。事業者の業種や､事業の営利･非営利(NPO 等)の形態は問いません。ただし、官公庁・自治体等は除きます。応募は企業・団体単位となります。
(2) 直前の決算期の業績が黒字であること。
(3) コンプライアンス (公序良俗に反する事業を行っておらず､3 年以内に法人や構成員が重大な法令違反をしておらず､重大な労働災害を起こしていない) を遵守していること。

②応募の条件

応募には、該当するサービスの責任者 (企業・団体の代表者・責任者等) の同意が必要です。第 2 次審査へ進んだ場合の現地審査の実施についても同意が必要です。
※なお、一度応募されたサービスについては、新たな内容や付加的な事由が存在する場合には、次年度以降も再応募することができます。

③応募の制限

(1) 2015年7月時点で提供していないサービス、および1年以内に終了が見込まれるサービスの応募は受理できません。
(2) 同一の企業・団体から、同一のサービスを重複しての応募は受理できません。
(3) 応募内容が他の特許等を侵害している場合、または係争中の場合は受理できません。
(4) 社会通念上不適切と思われる組織からの応募は受理できません。
(5) その他、委員会が不適と判断した応募は受理できません。

2. 審査・選出方法

①審査・選出方法

有識者で構成される審査委員会を組織し、書類審査と現地審査による選考を経て、最終選考会で表彰対象の企業・団体を選考します。
(1) 第1次審査 (書類審査)
応募書類により審査を行い、有望な候補の絞り込みを行います。
(2015年10月上旬から11月下旬に実施予定) ※審査を通過した応募者に結果を連絡致します。
(2) 第2次審査 (現地審査)
第1次審査で絞り込まれたサービスについて、現地審査、責任者ヒアリング等を実施します。
(2015年12月上旬から2016年1月下旬に実施予定)
(3) 最終選考会
第2次審査で絞り込まれたサービスについて、最終選考会を行い、各賞の受賞者を決定します。
(2016年2月に実施予定)

②審査の基準

以下の各項目に関して、定量 (数値指標)・定性 (記述) の両側面から審査を行います。
(1) 受け手の期待に対する達成度
「優れたサービス」の特徴である、受け手が同種の一般的なサービスに対して持つ期待を、大きく超える経験価値を提供し、成果をもたらしていること。あるいは、今までにない、新しい経験価値を提供し、成果をもたらしていること。
(2) サービスをつくりとどけるしくみ
(2)−1　構造
業務分担・業務マニュアルやICTの利活用、それを実行する人財の雇用・活用と評価制度、経済的継続性(収益性)を担保する事業モデル、優れたサービスを目指す企業理念、等。
(2)−2　プロセス
変化に応じて構造をつくりかえる持続性と自己革新性、顧客と一体となった経験価値の創造を可能にする場づくり、従業員への権限移譲による現場での自律的な判断と行動、等。
(2)−3　波及効果
当該サービスがもたらす、地域経済の活性化、直接的・間接的な雇用の創出、社会課題の解決、等。
(3) サービス産業の発展への寄与
他の事業者が参考にし、新たに自社のサービス向上に繋げるなど、サービス産業界に広く応用・展開できるサービスであること。また、きらりと光る尖った特徴を持つ独創性・革新性のあるサービスであること。

3. 応募方法 ※応募用紙および登録フォームは2015年6月以降ホームページにて順次公開致します。

①応募書類（添付資料含む）の作成

応募にあたっては、所定の応募書類を作成していただく必要があります。日本サービス大賞のホームページから応募用紙をダウンロードしてください。

(1) 応募書類の種類と形式

応募用紙：Microsoft Word 形式

添付資料：ファイル形式の指定はありません

※添付資料は補足情報がある場合にご提出ください。

※イメージ写真・画像などがある場合は添付資料に含めてください。

(2) 応募書類の提出

応募用紙に必要事項をご記入の上、必要に応じて添付資料を付けて以下のいずれかの方法により応募してください。

〈ホームページの登録フォームより〉

・日本サービス大賞ホームページ：http://service-award.jp

〈E-mail の場合〉

・メールアドレス：service-award@jpc-net.jp

〈郵送の場合〉（簡易書留または宅配便にてご送付ください）

・宛先：〒150-8307 東京都渋谷区渋谷 3-1-1（公財）日本生産性本部内
サービス産業生産性協議会「日本サービス大賞」事務局 宛

※提出された応募書類等は返却致しませんので、ご了承願います。

※提出された応募書類に記載された個人情報は、本表彰制度の運営以外の目的には使用致しません。

※提出された応募書類に不備がある場合、審査対象から除外する場合がありますのでご注意ください。

②応募期間

2015年7月1日（水）から2015年9月30日（水） ※期日までに必着

この期間内であればいつでも応募可能ですが、いずれの応募方法の場合も、
2015年9月30日（水）必着（郵送の場合は上記の事務局着）でご提出ください。

③応募費用

応募に際して、手数料等はかかりません。ただし、郵送料は応募者のご負担とさせていただきます。

4. 受賞者の発表・表彰式

①受賞者の発表

受賞者の発表は2016年春を予定しています。受賞者および受賞内容については、
日本サービス大賞のホームページ等で発表します。

②表彰方法

受賞企業・団体に対して表彰式を行います。表彰式等の詳細については追って受賞者に連絡します。

③受賞後の広報・PR等へのご協力のお願い

受賞企業・団体に対しては、表彰式後の広報・PR活動、各種イベント等へのご協力をお願いすることがありますので、あらかじめご了承ください。

④表彰の取消し

表彰後に重大な法令違反や行政処分などが発覚した場合は、受賞を取り消し、表彰状等はご返納いただきます。

5. お問い合わせ

サービス産業生産性協議会（SPRING）「日本サービス大賞」事務局
〒150-8307　東京都渋谷区渋谷 3-1-1 公益財団法人日本生産性本部内
E-mail: service-award@jpc-net.jp　TEL 03-3409-1189　FAX 03-3409-1187

なお、受賞者決定前の候補者に関するお問い合わせや審査状況、審査結果に関するお問い合わせには一切お答え出来ませんのでご了承ください。

日本サービス大賞シンボルマーク

日本サービス大賞のシンボルマークは、関係のダイナミズムを表現しています。人と人、人とものを創造的に結びつけていく、しなやかで強靭なサービスの運動性を象徴するかたちです。ものや技術を融合させ、それを新たな価値へと飛躍させていく思考やストーリーを内包するものとしてご覧ください。

グラフィックデザイナー　原 研哉

主催団体について

SPRING
サービス産業生産性協議会

サービス産業生産性協議会

2006年の安倍政権の経済成長戦略にて「サービス産業のイノベーションと生産性向上」を目指して発足が決定し、翌年、産学官が取り組む共通のプラットフォームとして公益財団法人日本生産性本部内に設立。様々な業種の企業・団体による会員構成で活動し、サービス産業のダイナミックな成長を支援します。

公益財団法人 日本生産性本部

経営者、労働者、学識経験者の三者構成にて、生産性運動を展開する中立な組織です。産業人の育成や経営コンサルティング、「日本アカデメイア」や「日本創成会議」などの活動を通じて、生産性向上に取り組んでいます。

事務局｜お問い合わせ｜　サービス産業生産性協議会「日本サービス大賞」事務局

http://service-award.jp
E-mail: service-award@jpc-net.jp
東京都渋谷区渋谷 3-1-1 （公財）日本生産性本部内
TEL: 03-3409-1189　FAX: 03-3409-1187

日本サービス大賞　検索

「日本サービス大賞」を検索ください。

日本サービス大賞 Facebook ページ
https://www.facebook.com/ServiceAwardJP
日本サービス大賞 Twitter アカウント
@ServiceAwardJP